

令和元年10月29日（火）

津島市市長公室シティプロモーション課（山内、菱田）

電話番号 0567-55-9589（ダイヤルイン）

津島毛織工業組合が端切れを使った小物を商品化！ ～津島の毛織物をPR～

津島は近代毛織物の発祥の地であり、かつては「ウールの津島」と言われるほど毛織物産業が発展し、現在でもヨーロッパのハイブランドに起用されるなど、その高度な技術は海外からも高い評価を得ています。

このたび、津島毛織工業組合では、津島の毛織物のPR及び端切れの有効活用を目的として、社会福祉法人名古屋市身体障害者福祉連合会に、市内の毛織物工場の余った生地で小物（ペンケース）の制作を依頼し、商品化することにしました。小物は、端切れを使って手作りで作るので、一つ一つ模様が異なります。今後は、本市のプロモーション活動に小物を活用していきます。

1 経緯

津島市で現在策定中の「津島市歴史的風致維持向上計画」*の検討を進めるなかで、津島の毛織物を取り上げたことを契機に、津島毛織工業組合が津島の毛織物をさらにPRするため、身近な製品に活用できないか検討し、小物の制作・商品化が実現した。

2 販売開始時期

令和元年11月予定

3 販売場所

津島市観光交流センター他

4 販売価格

600円程度

5 商品

ペンケース



津島市歴史的風致維持向上計画※

「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」を歴史的風致と言い、津島市固有の歴史的風致を維持及び向上させるために市などが取り組む事業等を定めた計画で、平成30年度、令和元年度の2カ年で策定を進めている。

計画では、のこぎり屋根の工場や毛織物産業も津島市の歴史的風致の構成要素の一つとして取り上げている。